

# 六甲山の災害展の実施結果について

## 1. 開催内容

### (1) 開催時期

平成 20 年 6 月 17 日 (火) ～ 29 日 (日)

### (2) 開催場所

人と防災未来センター 防災未来館 1 階企画展コーナー

### (3) 展示内容

- ①六甲山系の土砂災害 (パネル)
- ②災害に強い森づくり (パネル)
- ③グリーンベルト事業 (パネル)
- ④土石流モデル実験
- ⑤降雨体験装置
- ⑥山の保水力実験

## 2. 来場者

### (1) 傍聴者数

- 2 週間 (12 日間) にわたり、総計 5,056 人に対して土石流モデル実験等の説明を行った。
- 一日あたり最大約 650 人 (6/18) に対して説明を行った。
- 来場者数の変動等により、日あたりの傍聴者数の増減は著しい。

※ 本データは土石流モデル実験等の説明者による概算を整理したものであり、パネル展示のみを傍観した来場者は含まれない。

※ グラフの合計は 5,056 名である

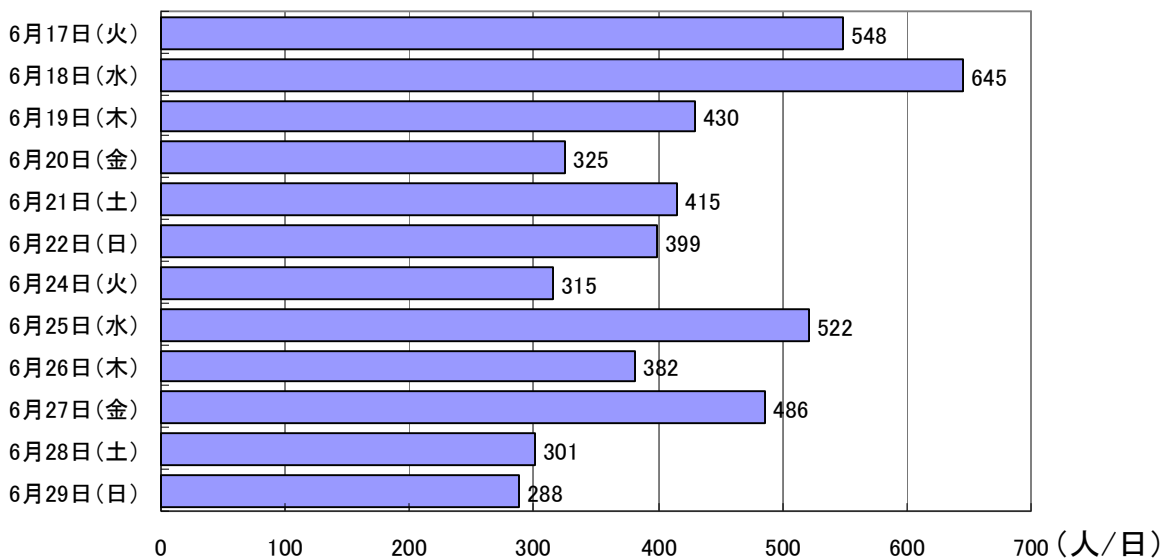


図 1 日別傍聴者数

(2) 来場者数

- 一日あたり平均約 1,060 人の来場者数があったが、多い日と少ない人の格差は約 1000 人と大きい。
- 来場者数に対して、平均約 40%の割合で土石流モデル実験等の説明を行った。
- 予約者数のうち、大人と学生の割合はおよそ 6 : 4であった。
- 県内からの来場者が約 15%、県外からの来場者が約 85%であり、県外からの来場者が比較的多い。

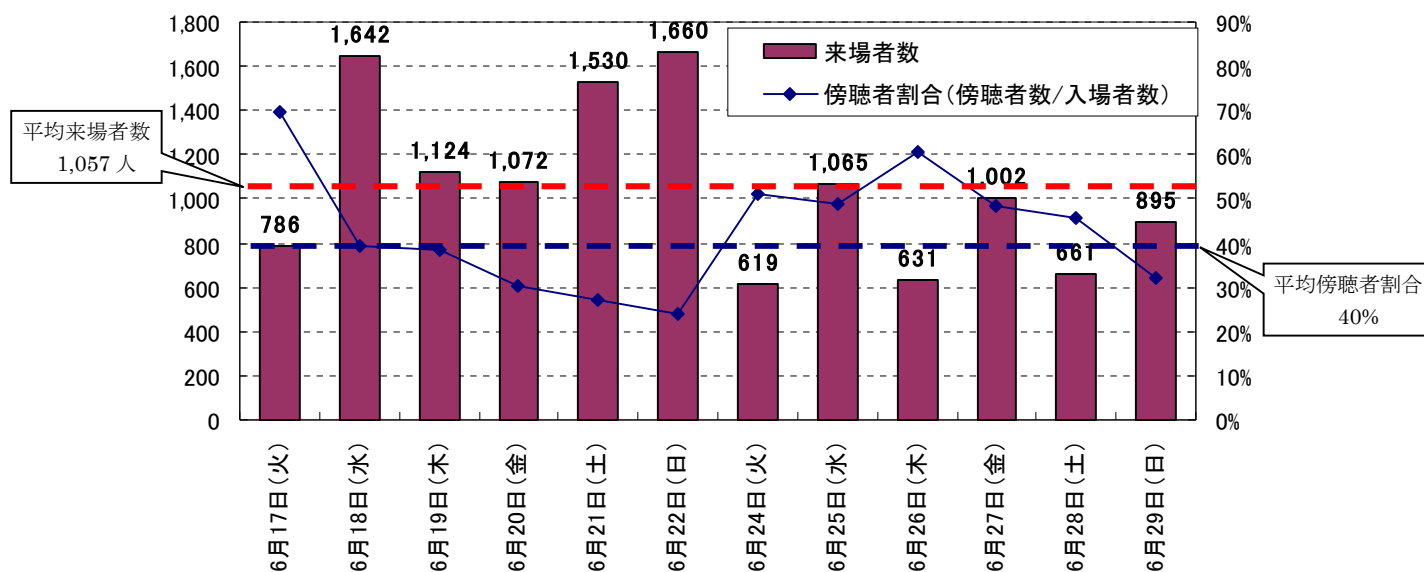


図2 日別来場者数と傍聴者割合

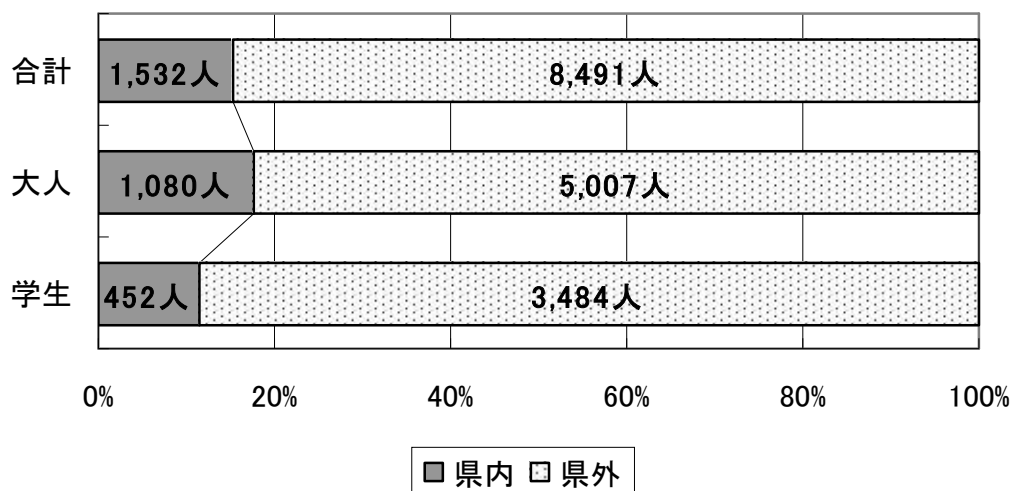


図3 予約者における県内外割合

### 3. アンケート結果

本アンケートの回答数が123枚であり、傍聴者に対して約2.4%と少ないが、アンケート結果をもとに本災害展の結果を分析した。

#### (1) 傍聴者の属性（アンケート回答者）

- 本災害展と関連のある阪神地区の傍聴者は1割強と低く、阪神地区以外の兵庫県内からの傍聴者も同程度の1割程度であった。
- 年齢で分類した場合、中・高校生が4割以上と最も多く、続いて60歳以上の高齢者が多かった。
- 職業で分類した場合、学生が最も多く、続いて会社員が多い。

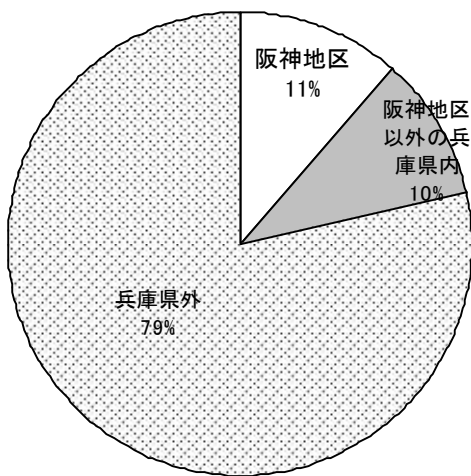


図4 傍聴者の居住地

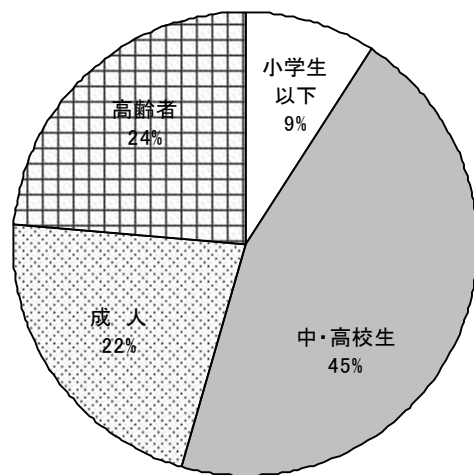


図5 傍聴者の年齢

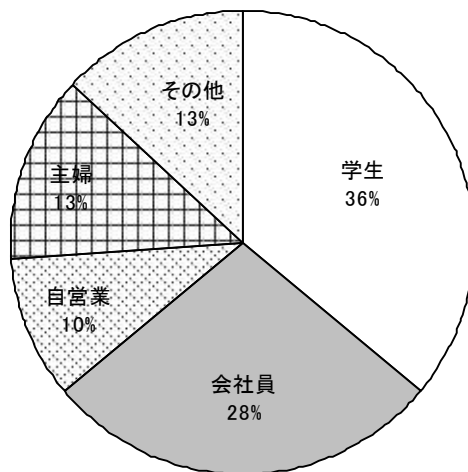


図6 傍聴者の職業

## (2) 広報

- 本災害展を知らずに来場する人が全体の約6割を占めた。
- 記者発表による新聞記事および小冊子によるものの16%と現在実施している広報としては最も効果的であった。
- 口コミおよびその他の一部では、学校の先生がホームページ等で確認を行い、学生に伝達したものと考えられる。

※ 本災害展に係る広報内容は以下のとおりであった。

- 記者発表（資料配付）
- ホームページ掲載（兵庫県 HP、人と未来防災センターHP）
- 小冊子への掲載（兵庫ジャーナル）

※ 質問内容：「災害展を前もって知っていましたか？それはどこで知りましたか？」

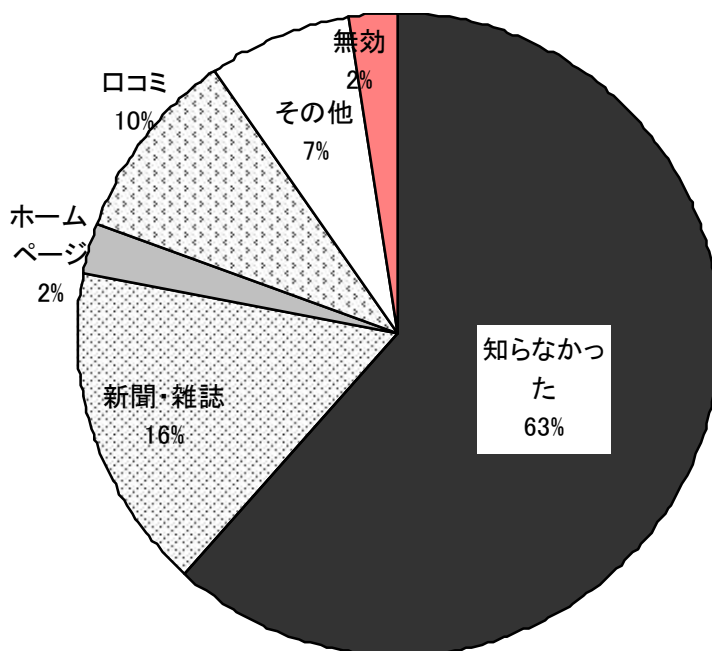


図6 県内外別の傍聴者の職業

### (3) 災害展の効果

#### ① 展示別の好感度

- 最も印象に残った展示として、『土石流実験装置』が回答のうち4割強を占め、続いて『降雨体験装置』が2割強を占めた。
- パネル関連のうち、『災害に強い森づくり（パネル）』が最も好評であった。
- パネル展示の合計値が4割近くあり、パネル展示もある一定の関心があることがわかる。
- 学生と成人に分類しても、両方とも『土石流実験装置』が著しく好評であった。
- 学生と成人に分類しても、概ねは同じ傾向であるが、パネルの内容により若干の違いが見られ、学生にはハザードマップのようなパソコンを活用した内容の割合が比較的高い。

※ 本回答は複数回答可能な質問をまとめたものである。

※ 質問内容：「印象に残った展示は次のうち、どれですか？」

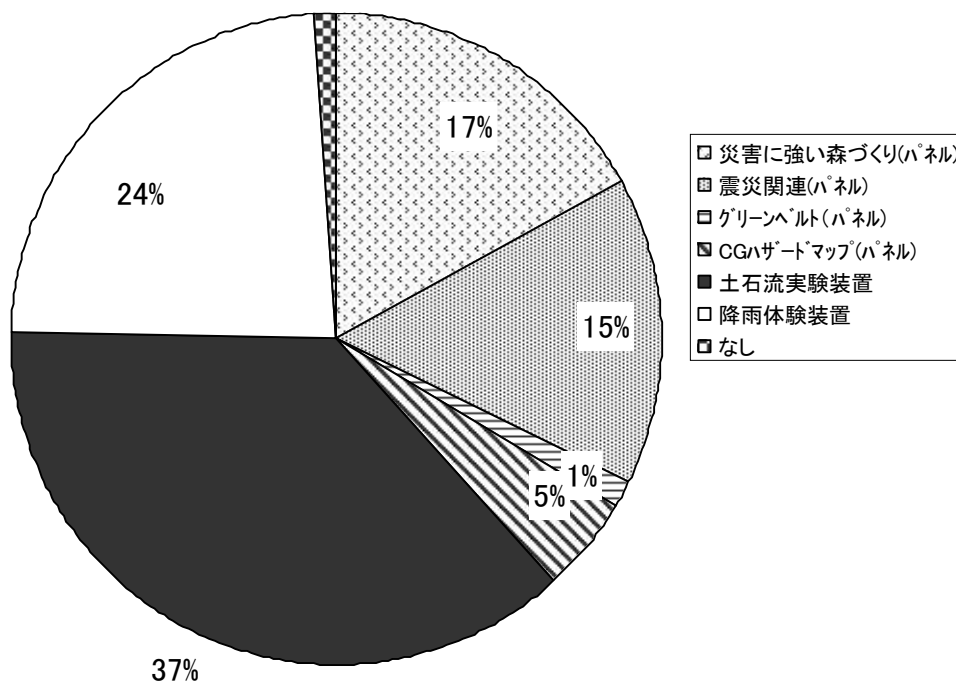


図7 展示別の好評展示物

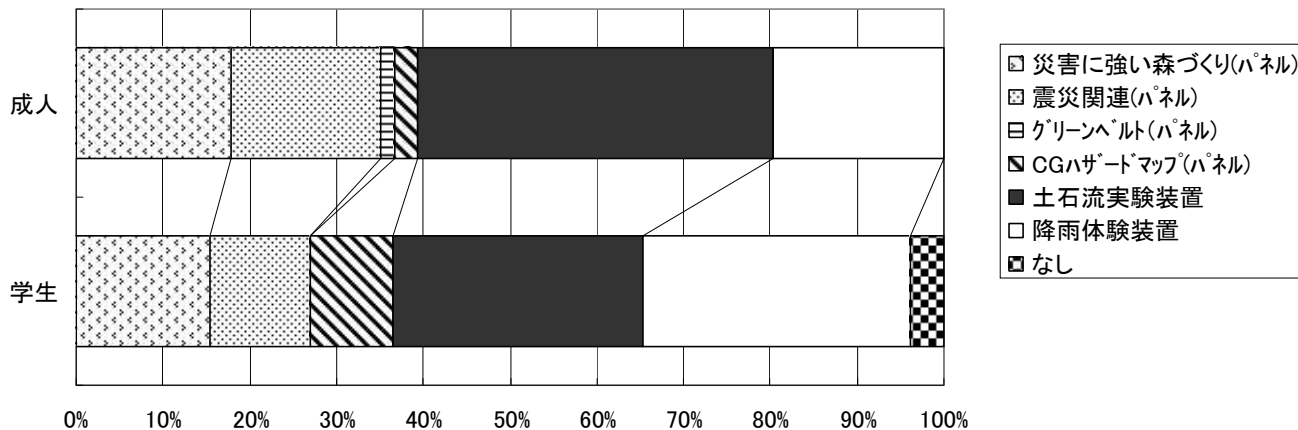
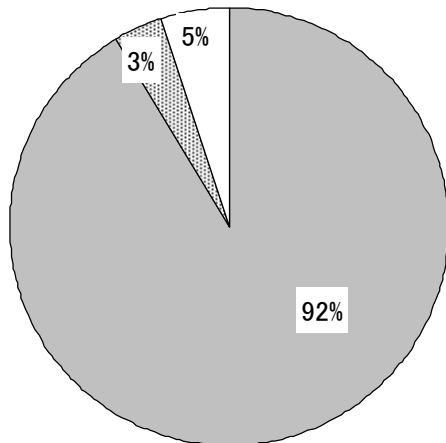


図8 属性別の展示別好評展示物

## ②災害展の影響

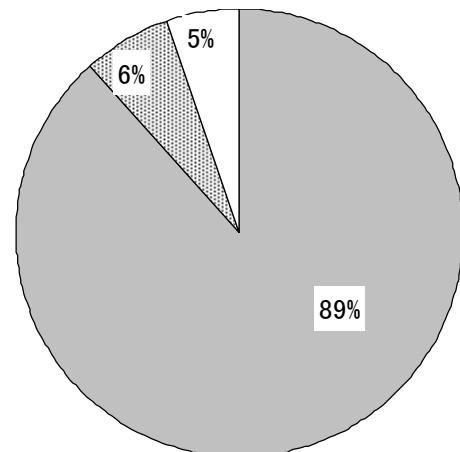
- 災害展の第1の目的である「災害に対する恐怖の再認識」「防災意識の向上」は概ね達成されている。
- ただし、本災害展のみによるものではなく、人と防災未来センターの展示効果を相まった結果と考えられる。

※ 質問内容：「災害の怖さを再認識しましたか？」 「あなたの防災に対する意識は向上しましたか？」



□ 怖さを再認識した □ 変わらない □ わからない

図9 怖さの再認識度



□ 防災意識が向上した □ 変わらない □ わからない

図10 防災意識の向上度

#### (4) 自由意見

##### ①要望

- 災害時における国や県の素早い対応が必要と思う。
- もっといろいろな場所で、この災害展を開催して災害の怖さを知ってもらおうと良いと思う。  
本日、岐阜から来ました。

##### ②災害展を見たことによる心境の変化

- ダムの有無によって土石流の違いの変化がよく分かった。
- 災害の怖さが良く分かりました。また来たいです。
- 少しでも、災害の恐ろしさを知ったので良かったです。これからは、ちゃんと災害にそなえておきたいです。
- 災害の怖さを知りましたので、自分たちで、できることを考えていきたいです。
- 災害が起きると恐いと思いました。(3名)
- 住宅開発が行われますが、住む場所、開発場所を考えて災害の少ない場所作りを心掛けて下さい。
- 自然と上手に付き合っていきたいと思います。
- 小さな川でもダムが有ったら、災害が少なく谷川が良く水の流れが良く成る。

##### ③災害展へ対する意見・感想

- 施設は防災意識を高編める有意義なものでした。
- 普段、雨の量を天気予報で見ても、よく分からないけど、装置で見ると、改めていろいろ考えることができた。
- 安全を得るためには、お金が必要であることを再確認しました。そのため、PR活動も大切と考えます。
- 土石流模擬実験は、わかりやすく、印象に残りました。

##### ④その他

- 物の配置に気をつけるべきである。
- 館内がざわついていて、声が聞こえにくかった。(2名)
- 最近の災害についても、展示コーナーを設けて下さい。

以 上

参考資料

平成19年度 「六甲山の災害展」アンケート

本日は、「六甲山の災害展」をご覧頂きありがとうございました。  
よりよいイベントにしていくため、アンケートにご協力ねがいます。  
当てはまるものを○で囲んで下さい。

1. 本日は、どちらから来られましたか？  
①神戸・阪神地区 ②兵庫県内（神戸・阪神地区以外） ③それ以外
2. あなたの年齢を教えてください。  
①12歳以下 ②13歳～18歳 ③19歳～60歳 ④61歳以上
3. あなたの職業を教えてください。  
①学生 ②会社員 ③自営業 ④主婦 ⑤その他
4. 災害展を前もって知っていましたか？それはどこで知りましたか？  
①知らなかった ②新聞・雑誌 ③ホームページ ④口コミ  
⑤その他（ ）
5. 展示の内容で、印象に残ったものはありますか？  
(複数でも結構です)  
①（パネル）災害に強い森づくり ②（パネル）震災などの災害写真  
③（パネル）グリーンベルト事業 ④（パネル）CGハザードマップ  
⑤土石流模擬実験 ⑥降雨体験装置 ⑦特になし
6. 災害展を見て、災害の怖さを再認識しましたか？  
①はい、しました ②あまり変わらない ③わからない
7. 災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？  
①はい、しました ②あまり変わらない ③わからない
8. 災害展を見た「感想」や「改善すればよいこと」など、何でも結構なので教えてください。

( )

※記入できない場合は、裏面に記入してください。

ありがとうございました。貴重なご意見を参考にさせていただきます。

◇兵庫県農林水産部農林水産局治山課

◇兵庫県六甲治山事務所